

## 「ITゴルフ」の楽しみ

ゴルフ場も人件費の軽減とプレイヤーの高齢化に対処するため、ゴルフカートの導入が進んでいます。

技術立国日本で、こんなカートがあればいいなあと思っていたゴルフカートがハワイオハウ島 KO'Ohrina Golf コースで導入されていたのです。ゴルフカートにノートパソコンぐらいのディスプレイと簡単なボードが付いていました。グリーンに立つとこのコースの攻め方が表示されます(例えばこのコースは、第一打は右方向に打つと、第二打が打ちやすい)。ディスプレイには前プレーしているカートの位置が表示されていて、一定の線の外にカートが出たら本人が打って良いと判ります。ボールを打ってカートに乗り(2人用)ボールのちかくでカートを止めると、今打ったボールの飛んだ距離とグリーンまでの距離がディスプレイに表示されます。スコアをボードに打ち込みますと、自分と相手のスコアもすぐ表示されます。

食事時間が近づくとレストランのメニューが表示されてレストランの注文を取ります。

機械相手では、キャディーさんのように「ナイスショット」と誉めてもらえなくて、面白くないと思う人がいますが、なんとこの機械バーディーをとったら拍手をしてくれました。ミスショットをすると「残念です。ヘッドアップです」とは言いませんでしたが…。

マスター室は、全カートの集中コントロール室になっていてあまり遅いカートは黄色で表示されていてウオッチしているそうです。

電子立国日本はどうしてこんな機械が作れないのでしょうか？日本は長い間、遊びは悪辛苦は善というモラルに浸っていて、技術はあってもこうしたものは作れない社会かも知れません。

望月 政男 (山梨経済同友会幹事)

初出 2000/4/1